

白河市の史跡めぐり

平成 22 年 9 月 17 日

放送大学茨城学習センター主催

茨城同窓会・ふるさと探勝会共催

茨城学習センター主催、茨城同窓会・ふるさと探勝会共催で、福島県白河市の史跡めぐりを下記のとおり行います。みちのくの玄関口として歴史的にも地理的にも重要な位置を占めてきた白河市には、歴史ロマンあふれる史跡・旧跡などが数多くあります。今回はその中で、奥州三古関の一つとして知られる「白河の関」、日本最古の公園で四季折々の美しい風景が堪能できる「南湖公園」、そして奥州関門の名城と謳われた「白河小峰城」を訪ねます。皆様のご参加をお待ちしております。{ 幹事：前島、長谷川、葛貫(千) }

記

1. 日

平成 22 年 10 月 31 日(日) 雨天決行

2. コース

JR 水戸駅南口(ホテル・テラス・ザガーデン)(7:30 発) 茨城大学生協前(8:00 発) 那珂 IC(常磐道)(磐越道)(東北道) 白河中央スマート IC 白河小峰城(10:30~11:30) 南湖公園・翠楽苑{昼食 11:45~12:45、昼食代 2,100 円(入園料・呈茶込)} 南湖公園・南湖神社(12:50~13:40) 白河関跡(14:00~15:00) 白河小峰城(~15:20) り菜あん(JA しらかわ農産物直売所)(15:30~16:10) 白河中央スマート IC(東北道)(北関東道)(常磐道) 水戸北スマート IC 茨城大学生協前(~18:30)(解散) JR 水戸駅南口

3. 集合場所 & 集合時間

(1) JR 水戸駅南口 ホテル・テラス・ザガーデン水戸前 7:25 集合(上り 7:16 着、下り 6:58 着) 7:30 出発

(2) 茨城大学生協前 7:50 集合 8:00 出発

4. 申込について

(1) 募集人数：40 名(先着順受付・定員になり次第〆切)

(2) 参加費：1,000 円(昼食代は各自負担)(当日徴収)

(3) 申込・問合せ先：茨城学習センター事務局

電話：029 - 228 - 0683

(4) 申込方法：申込の際、集合場所、氏名・郵便番号・住所・電話番号・生年月日(旅行傷害保険をかけるため)を記入の上、学習センター事務局窓口へお申込み下さい。また電話でも受け付けいたします。

(5) 申込〆切：平成 22 年 10 月 20 日(水)

5. 当日の連絡先

・茨城学習センター事務局 029 - 228 - 0683

・茨城同窓会会長 葛貫携帯電話：090 - 6128 - 4074

・ふるさと探勝会会長 堂本携帯電話：080 - 5468 - 3523

6. その他

・申込後変更を生じた場合、早めに学習センター事務局窓口にご連絡ください。

・天候、時間の都合で見学コース・目的地滞在時間を変更する場合があります。



7. みどころ

(1) 白河小峰城

奥州関門の名城と謳われた白河小峰城は、結城親朝が14世紀中頃に小峰ヶ岡に城を構えたのが始まりとされ、1632年に初代藩主、丹羽長重が4年の歳月を費やして完成させた梯郭式の平山城である。その後、松平定信をはじめ七家21代の大名が居城したが、1868年戊辰の役により当時の城郭は失われた。平成3年に三重櫓、平成6年に前御門が史実に基づき忠実に復元された。



白河小峰城

(2) 南湖公園

南湖は、名君であり茶人、また優れた作庭家であった白河藩主松平定信（楽翁公）により、1801年に築造された日本最古と言われる公園。定信はこの公園において身分の差を越え庶民が憩える「士民共楽」という思想を掲げ、「共楽亭」と称する茶室を建て、士民と楽しみを共にした。雄大な那須連峰、関山を借景とした回遊式自然庭園として湖畔の松や吉野桜、嵐山の楓が四季折々の美しさをたたえ、市民憩いの場として親しまれている。



南湖公園

(3) 翠楽苑

定信の庭園思想の精神を引き継ぎ、日本文化の伝承を体現する施設として造られた日本庭園。南湖公園の一角にあり、苑内には書院造りの「松楽亭」や関山を借景できる茶室「秋水庵」、野点広場などがある。翠楽苑の名称は「南湖」の緑と、湖と水に通じる「翠」と楽翁公の「楽」をいれて「翠楽苑」と名付けられた。



翠楽苑

(4) 白河の関

白河の関は、勿来（なこそ）（福島県いわき市）念珠（ねず）（山形県鶴岡市）とともに奥州三古関の一つとして知られている。5世紀頃、蝦夷の南下を防ぐため、大和朝廷が設けた砦であったといわれている。やがてその機能が失われ廃関となってからは、辺境の歌枕の地として多くの歌人にうたわれた。能因や芭蕉をはじめ、時代を代表する風流人たちがこの地をおとずれて多くの歌を残しており、現在も風流人の想いを描く地として愛されている。

（写真・資料は、白河市観光パンフレットより引用）



白河の関

以上